

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 2 月 4 日 (火)	時 間	19 : 00 から 20 : 33 まで
場 所	福島小学校 記念館		
出席者	保護者 13 名、教職員 7 名、地域住民 11 名 計 31 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、学校政策課長補佐、生涯学習課長補佐、学校政策課指導主事、 施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	再編をする際に地域住民の理解が必要だと思う。今でも私立中学校へ流出している状況の中で、地域の理解がなければ拍車がかかる可能性もあるので、そのあたりをどのように考えているのか。また地域の理解が得られている状況なのか。	今、各地区の小中学校区を回って説明しているが、地区によっていろんな意見が出ている。現時点においては教育委員会としての案であるので、地域の方や保護者の意見を賜わりながら案がいい形になればと考えている。また地域の説明についても機会を作っていきたい。	
2	えびの市では 30 人学級を決めた。少規模校にとってはきめ細かい指導で成果を上げている学校があるので、30 人学級の導入を考えていく考えはないか。	1 学年 2 学級が基本にある。現場の先生の声として、30 人程度が一番指導しやすいというご意見をいただいております、行く先はそういうことも見据えて進めていければと思う。	
3	スクールバスの導入、運行にはどのくらい経費がかかるのか。将来的にスクールバスを運行するのにどのくらい経費がかかるのか。また財政面でどのくらい負担があるのか。	スクールバスの導入については、あくまで案であるが、バスを 6 台購入した場合、購入費が 3 千 3 百 90 万円程度かかると試算している。その財源として、国の補助金を 9 百万円、市の財源が 2 千 4 百 78 万円と試算している。また、スクールバスの運行経費は、8 人雇用した場合、年間 2 千 2 百 26 万 3 千円と試算している。その通学バスの維持運営費は地方交付税で措置されており、1 台あたり 5 百 70 万円であり、6 台で 3 千 4 百万円程度ある。 学校教育予算は大きく学校管理費と教育振興費に分けられる。学校管理費では、平成 25 年度と比較すると、現行で 5 千 4 百 52 万 3 千円に対し、再編後で 35.9%の 1 千 9 百 59 万 1 千円となる。また、教育振興費	

		では、平成 25 年度と比較すると、現行で 3 千 26 万 4 千円に対し、再編後で 96.2%の 2 千 9 百 10 万 6 千円となる。一方、歳入のうち地方交付税は、生徒数、学級数、学校数により交付されており、学校数や学級数が減ると段階的に減っていく。
4	地方交付税はどのくらい減るのか。	平成 33 年度では、現行で 1 億 2 千 3 百万円、1 校で 5 千 6 百万円と見込んでいる。ただ、段階的に減っていくのでこの時点で 6 千 7 百万円が減額される。段階的に減額されるので 5 年間の影響額が 1 億 8 千万円と見込んでいる。

No.	意見等
1	もう少し地域の人に説明会にくるような対応をしてほしい。地域の方ともデメリット解消のために十分話し合ってもらいたい。